

平成 31 年度伴走型人材確保・育成支援モデル事業

地域 C D N 機関

評価手順書（加算方式）

平成 3 1 年 5 月

復興庁

本書は、地域CDN機関（平成31年度伴走型人材確保・育成支援モデル事業）に係る評価手順をとりまとめたものである。

1 選定方式

（1）選定の方法

本業務の目的、内容等について十分理解している者のうち、「（2）評価の方法」によって得られた得点の高い者から順に「インターン受入人数」が、合計で延350名程度を超えるまで、複数候補者を選定する。

複数候補者の中から、震災被害の大きい地域における被災や人口流出による人口減少が大きい地域での人手不足に資するという本事業の目的を踏まえ、地域CDN機関を選定するものとする。

（2）評価の方法

- ① 評価項目の得点は、基礎点と加点の二種類に分かれており、その合計提案要求事項ごとの得点が決定される。評価項目ごとの基礎点、加点の得点配分については、別紙：評価基準書を参照のこと。
- ② 評価項目の区分が必須である項目については、評価基準のうち最低限の要求水準を基礎点に係る要件として設定している。評価の際には、基礎点に係る要件を充足している場合には配分された点数が与えられ、充足していない場合は0点となる。提案者は、提案書にて基礎点に係る要件を全て充足していることを示さなければならない。一つでも基礎点に係る要件を充足していないとみなされた場合には、その者は不合格となる。
- ③ 評価基準のうち基礎点に係る要件以外は、加点に係る要件である。加点に係る要件については、その提案内容に応じて加点する。（具体的な加点に係る要件の評価については、「2.（2）配点方法」を参照のこと。）

※各審査員の得点を平均して、小数点以下の端数が生じた場合には切り捨てるものとする。

2 評価項目

(1) 対象項目

本調達における得点の内訳は以下のとおりとする(詳細については、別紙：評価基準書を参照のこと)。

得点 =	① 業務の実施方針等 (80点満点)
	+② 組織としての経験・能力 (20点満点)

(2) 配点方法

加点に係る要件に関しては、提案書の各項目について、それぞれ以下の採点基準により得点を与え、その合計を技術点とする。

評価ランク	評価基準	項目別得点
S	通常の設定を超える卓越した提案内容である。	5
A	通常の設定される提案としては最適な内容である。	3
B	概ね妥当な内容であると認められた。	1
C	内容が不十分である、あるいは記載がない。	0

3 同一点数の場合の対応

平均点が同点の場合、次の基準で選定する。

- (1) 「Sランク (5点)」の数が多き者を選定する。
- (2) 「Sランク (5点)」の数が同数の場合は、「Aランク (3点)」の数が多き者を選定する。
- (3) 「Aランク (3点)」の数も同数の場合は、「Bランク (1点)」の数が多き者を選定する。